



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス 上場取引所 東
コード番号 7374 URL <https://ciw.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤岷 宣之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 永井 晃司 TEL 03(5312)7700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,143	△1.2	314	△10.1	294	△15.9	181	△18.8
2025年3月期第1四半期	2,170	54.0	349	23.8	350	42.6	223	33.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 181百万円 (△18.5%) 2025年3月期第1四半期 222百万円 (33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	29.42	29.30
2025年3月期第1四半期	35.08	34.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,876	5,786	83.5
2025年3月期	6,614	5,816	87.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,743百万円 2025年3月期 5,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		35.00	—	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,800	10.7	680	△2.3	661	△5.6	430	△2.2	69.30
通期	10,300	22.7	1,500	15.1	1,485	13.2	945	△9.1	151.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年8月8日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	6,709,777株	2025年3月期	6,708,777株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	538,133株	2025年3月期	538,032株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	6,170,905株	2025年3月期1Q	6,376,379株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の関税政策による目立った影響は現れておらず、堅調さを維持しております。大企業製造業では、鉄鋼等の素材業種が市場予測に反して改善傾向を示した一方、自動車等の加工業種は悪化を示しております。非製造業では、販売価格の上昇や物価高による消費の減少、並びに人手不足を背景に、市場予測どおりの悪化を示しております。また、米国の関税政策に伴う先行き不確実性の強まりを受けて、日銀は経済・物価見通しの下方修正を行っており、不透明感や経済減速等が懸念されております。

当社グループ全体の事業領域である人材ビジネス市場の状況は、2025年5月の完全失業率（季節調整値）は2.5%（前年同月2.6%、前月2.5%）、有効求人倍率（季節調整値）は1.24倍（前年同月1.24倍、前月1.26倍）、新規求人倍率（季節調整値）は2.14倍（前年同月2.16倍、前月2.24倍）の国内雇用状況であり、若干の下落傾向を示しつつも高水準にて堅調に推移しております。

当社グループの主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、2024年の国内家庭用ゲームのハード・ソフト市場は、ハードは1,894.0億円で前年対比70.8%、ソフトは1,119.2億円で前年対比82.1%、ハード・ソフト合計では3,013.2億円と前年対比74.6%（出典：ファミ通ゲームソフト・ハード売上ランキング 2024年年報）の減少傾向を示しております。一方で、2024年の世界のモバイルゲーム市場規模は12兆4,103億円で前年比141.2%、日本の市場規模は1兆7,290億円で前年比145.5%（出典：ファミ通モバイルゲーム白書2025、一部為替を考慮）と世界・日本共に拡大傾向を示しております。国内家庭用ゲーム市場規模は減少傾向にあるものの、次世代機のリリース等もあり、今後もゲーム市場は概ね安定的に推移する事が見込まれます。しかしながら、開発費の高騰や開発期間の長期化、海外企業の日本市場での台頭もあり、モバイルを中心としたソーシャルゲーム並びにコンシューマーゲーム共に多くの国内デベロッパー各社が継続して苦戦を強いられているのも事実であります。

このような環境の中、当社グループの「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、ゲーム会社各社の業績が軟調に推移する中、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域の新規取引先の開拓のみならず、既存取引先のさらなる深耕に継続して取り組み、主力のゲーム会社向け派遣事業の配属者数の拡大に取り組んで参りました。また、「HRソリューション事業 人材紹介」の業績は軟調ながら、「メディア&ソリューション事業」の業績は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,143,955千円（前年同期比1.2%減）、営業利益314,590千円（前年同期比10.1%減）、経常利益294,613千円（前年同期比15.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益181,529千円（前年同期比18.8%減）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<HRソリューション事業 人材派遣・受託>

主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」におきましては、主力のゲーム会社向け人材派遣サービス、並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託サービスを展開しております。「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、中長期的には成長が見込まれているゲーム市場に対して、安定的な事業の継続拡大を企図して、ゲーム業界の大手並びに中堅企業への網羅的な求人獲得活動の継続、ゲーム業界志望者に対する効率的なマーケティング活動の実施、業界向けイベント開催を通じた当社認知度の向上等に取り組んでおります。

人材派遣サービスにおいては、ゲームソフト・アプリケーション市場がモバイルを中心としたソーシャルゲームでは開発費の高騰や開発期間の長期化、海外企業の日本市場での台頭等から、多くのデベロッパー各社が苦戦の継続を強いられる状況下、市場全体として苦戦している状況にあります。

このような状況に対し、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域への取り組み、商圏の拡大を企図した取り組みである関西圏及び九州圏への進出、また、取り扱う契約形態の多様化観点からフリーランスマッチング市場への参入を進め、売上基盤の拡大に継続して努めて参りました。また、2025年4月には大阪を拠点にクリエイター専門の人材サービスを展開する株式会社レッツアイを連結子会社化し、既存のゲーム業界と親和性の高いWeb職種をはじめとした、職種の多様化に努めると共に、関西圏の顧客基盤の拡大を図って参りました。

また、クリエイター配属数を増加させるため、引き続き、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数の拡大を図っております。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用しており、これに加えて、自社の求人メディアを開設することにより求職者の応募チャネルの増加を図っております。

受託サービスにおいては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しており、守秘性が高いことから、新宿区に専用オフィスを設置しております。現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図り、新規案件のリード獲得数増加に努めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,389,491千円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益294,127千円（前年同期比17.1%減）となりました。

<HRソリューション事業 人材紹介>

「HRソリューション事業 人材紹介」におきましては、メーカー・建設・不動産・エネルギー・IT・ゲーム・エンタメ等の業界を中心とした顧客企業に対して、アッパーミドル層を中心とした高いプロフェッショナル性を持つ求職者を紹介する職業紹介サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材紹介」の市場において、構造的な労働力不足を背景に、国内企業における人材ニーズは各業界共通して高水準が維持されている反面、賃上げなどによる待遇改善が進んでいることから転職市場における人材の流動性が鈍化しております。しかしながら、雇用人員判断では全規模並びに全産業での不足超幅が拡大を示しており、中長期的な市場の活性化が見込まれております。

この市場動向に対して、採用ニーズの高い既存取引企業向けの専任アカウンティングチームを編成、中小企業を中心とした新規企業の開拓を継続。AIも活用し一人の登録人材に対する提案求人数を拡大し生産性を向上させております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高361,982千円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益116,080千円（前年同期比13.3%減）となりました。

<メディア&ソリューション事業>

「メディア&ソリューション事業」におきましては、製造業界・工場に特化した求人メディア「工場ワークス」を運営しております。また、受託・その他のサービスとして、長年にわたり積み重ねたノウハウとHRTechを活用した採用アウトソーシングコンサルティングにより、企業の採用課題の解決を支援するサービス等を展開しております。

「メディア&ソリューション事業」の主な市場において、大企業製造業での景況感が悪化しつつあるものの中長期的には横ばいの見込であり、雇用人員判断で全規模並びに全産業での不足超幅が拡大を示すとおり、人材の獲得が困難な状況が継続しております。また、新卒・中途のいずれの採用領域も既存の求人メディアのほかダイレクトリクルーティングサービスや人材紹介サービス、SNS系スカウトサービスなど様々な転職支援サービスが立ち上がり（「メディアとプラットフォームの分散化」）、求職者側の転職行動が多様化し人材の獲得難に拍車がかかる状況となっております。

メディアサービスにおいては、「応募者対応」への組織的な拡充強化に努め、希望条件に合った求人案内や面接対策・書類作成支援など転職応募から面接・採用に至るまでの応募者対応サービスを展開し、SNSを活用した集客プロモーションとコミュニケーションツールの導入を進め、求職者との接点量拡大とLTV向上によるユニークユーザー数の拡大を図り、集客チャネルが多様化する中で集客効率の高いチャネルを見極めて費用投下し、緻密なアロケーションを実施することで広告プロモーション適正化を図っております。採用支援サービスにおいては、業務シェアリングとプロジェクト間の人材ローテーションを実施し、業務プロフェッショナル人材の育成に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高394,310千円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益144,697千円（前年同期比15.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて262,502千円増加し、6,876,931千円となりました。これは主に、業績による増加、配当金の支払、納税、及び株式会社レッツアイの取得等を反映した現金及び預金の増加80,554千円、株式会社レッツアイの取得等を反映した売掛金の増加76,898千円、株式会社レッツアイの取得及び償却を反映したのれんの増加100,087千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて292,665千円増加し、1,090,153千円となりました。これは主に、株式会社レッツアイの取得等も反映した未払法人税等の増加96,430千円、未払消費税等の増加68,924千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて30,162千円減少し、5,786,777千円となりました。これは、主に業績による増加、配当金の支払等を反映した利益剰余金の減少34,446千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の87.3%から83.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年8月8日の「2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,994,242	4,074,797
売掛金	740,155	817,054
未収入金	816	1,041
その他	94,515	103,621
貸倒引当金	△462	△747
流動資産合計	4,829,268	4,995,766
固定資産		
有形固定資産		
建物	68,740	70,875
減価償却累計額	△15,183	△19,904
建物（純額）	53,557	50,970
工具、器具及び備品	77,845	79,861
減価償却累計額	△44,226	△47,421
工具、器具及び備品（純額）	33,618	32,440
有形固定資産合計	87,176	83,411
無形固定資産		
ソフトウェア	89,359	78,904
のれん	1,374,836	1,474,924
無形固定資産合計	1,464,196	1,553,828
投資その他の資産		
投資有価証券	15,000	15,000
繰延税金資産	100,233	108,147
差入保証金	109,993	111,160
その他	13,792	14,281
貸倒引当金	△5,232	△4,664
投資その他の資産合計	233,787	243,924
固定資産合計	1,785,160	1,881,165
資産合計	6,614,428	6,876,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	2,076	10,008
買掛金	95,200	96,103
未払金	118,516	103,183
未払費用	303,312	332,249
未払法人税等	36,577	133,007
未払消費税等	103,733	172,658
預り金	26,878	63,573
契約負債	3,440	8,119
返金負債	5,606	5,569
賞与引当金	98,592	149,670
その他	0	1,494
流動負債合計	793,935	1,075,637
固定負債		
長期借入金	3,553	14,516
固定負債合計	3,553	14,516
負債合計	797,488	1,090,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,590	535,072
資本剰余金	3,912,691	3,913,173
利益剰余金	2,191,258	2,156,812
自己株式	△861,220	△861,365
株主資本合計	5,777,319	5,743,692
新株予約権	39,620	43,085
純資産合計	5,816,940	5,786,777
負債純資産合計	6,614,428	6,876,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,170,502	2,143,955
売上原価	1,083,460	1,085,337
売上総利益	1,087,042	1,058,617
販売費及び一般管理費	737,249	744,027
営業利益	349,792	314,590
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	160
受取家賃	612	54
その他	226	285
営業外収益合計	854	501
営業外費用		
支払利息	27	85
支払手数料	308	20,392
営業外費用合計	336	20,478
経常利益	350,311	294,613
特別損失		
事務所移転費用	4,325	—
特別損失合計	4,325	—
税金等調整前四半期純利益	345,986	294,613
法人税、住民税及び事業税	110,422	120,996
法人税等調整額	12,807	△7,913
法人税等合計	123,229	113,083
四半期純利益	222,757	181,529
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△928	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,685	181,529

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	222,757	181,529
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	222,757	181,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,685	181,529
非支配株主に係る四半期包括利益	△928	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	27,928千円	19,185千円
のれんの償却額	41,245千円	48,683千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	1,344,239	—	—	1,344,239	—	1,344,239
職業紹介	—	384,473	—	384,473	—	384,473
求人広告	—	—	259,164	259,164	—	259,164
受託・その他	62,757	—	119,867	182,624	—	182,624
顧客との契約から生じる 収益	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
外部顧客への売上高	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
セグメント利益	354,738	133,902	124,802	613,443	△263,650	349,792

(注) 1. セグメント利益の調整額△263,650千円には、のれんの償却額16,498千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用247,152千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	1,330,090	—	—	1,330,090	—	1,330,090
職業紹介	1,684	361,982	1,432	365,100	—	365,100
求人広告	—	—	310,320	310,320	—	310,320
受託・その他	55,887	—	82,557	138,444	—	138,444
顧客との契約から生じる 収益	1,387,661	361,982	394,310	2,143,955	—	2,143,955
外部顧客への売上高	1,387,661	361,982	394,310	2,143,955	—	2,143,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,829	—	—	1,829	△1,829	—
計	1,389,491	361,982	394,310	2,145,784	△1,829	2,143,955
セグメント利益	294,127	116,080	144,697	554,905	△240,314	314,590

(注) 1. セグメント利益の調整額△240,314千円には、のれんの償却額16,498千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用及びセグメント間取引消去223,816千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「HRソリューション事業 人材派遣・受託」セグメントにおいて、株式会社レッツアイの全株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、148,771千円であります。